

【お仕置き調教】イケオジ管理人の本性
～嘘を見抜かれ、スパンキングと電マで連続絶頂地獄に堕とされる～

サンプル（一部抜粋）

【マンションの管理人室】

「（少し呆れたような低い声で）...こちら管理室。」

「またあなたですか。
で、ご用件は？」

（溜息をつく音）

「.....はあ？ お湯が出ない？
それは僕に言われても困りますね。ガス会社に直接連絡してください。」

「...『そんなこと言わずに、今すぐ僕に部屋まで見に来てほしい』？
今深夜1時ですよ。分かっています？」

「...はあ...わかりました。
部屋に伺います。」

「...こうしてほしかったんでしょう？
わざわざあなたの誘いに乗ってあげたんですよ。
僕は...若い女の子には優しいですからね。」

（強引にバスタオルを剥ぎ取る音）

「...何を恥ずかしがっているんですか？ 嬉しいくせに。」

（乳首を指で愛撫する摩擦の音）

「やけに乳首が立っていますね。
もしかして、僕をこの部屋に呼び出す直前までオナニーでもしていました？」

「僕にいじめられたかったの？ こんなふうには？」

（強引に鏡に手を突かせ、お尻をパンッと叩く音）

「（クスクス笑う）じゃあ、妄想よりもっと酷く虐めてあげますね。」

（ぐちゅっと後ろから強引に挿入する音）

「鏡から目をそらしちゃダメですよ？
僕に犯されている自分をちゃんと見て。」